

質問	回答
<p>Q1： EV市場が減速していますが、産機・環境システム事業における韓国真空の業績見通しについて教えてください。</p>	<p>A1： EV市場の減速により韓国真空の2026年3月期の業績は低迷しておりますが、現在は、欧州・インド等の顧客からの受注拡大を図っておりますので、2027年3月期においては、受注・売上・営業利益いずれも前期比で増加する見通しです。</p>
<p>Q2： 現在の中東情勢は、特装車事業および全体収益にどの程度影響しますか。</p>	<p>A2： 短期的な影響であれば、スライド17に記載のとおり、営業利益への影響は10億円程度を見ており、通期業績予想にも織り込んでおります。 事態が長期化・拡大した場合の追加リスクは、状況を慎重に見極め、適切に開示してまいります。</p> <p>ご質問のとおり、中東情勢の緊迫化は特装車事業に大きく影響するものであり、石油由来の資材の調達が困難になるとともに、価格の面でも高騰傾向にあります。 これらの状況については、事業部単独ではなく、新明和グループ全体に調達ルートを拡げながら、カバーするように努めます。</p>